



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月6日

上場会社名 沖電気工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6703 URL <https://www.oki.com/jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員兼最高経営責任者 (氏名) 森 孝廣

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 高橋 洋二

TEL 03-5635-8212

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	307,000	7.1	7,631	30.6	5,624	17.5	1,975	1.2
2024年3月期第3四半期	286,642	11.7	5,842		4,787		1,999	

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 180百万円 (%) 2024年3月期第3四半期 8,790百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	22.79	22.77
2024年3月期第3四半期	23.08	23.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	422,840	138,527	32.7
2024年3月期	423,399	141,314	33.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 138,398百万円 2024年3月期 141,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		30.00	30.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	453,000	7.4	16,000	14.4	14,500	20.7	9,500	63.0	109.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	87,217,602 株	2024年3月期	87,217,602 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	507,165 株	2024年3月期	542,144 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	86,705,895 株	2024年3月期3Q	86,671,691 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2025年2月6日(木)に機関投資家向け決算説明会を開催いたします。説明会資料は、本決算短信と同時にTDNetで開示しており、同日当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

①当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）の概況

日本経済は、雇用および所得環境の改善のもと、各種政策の効果によって緩やかな回復基調で推移しました。一方、資源価格の高騰による物価上昇、急激な為替変動、中国経済の停滞等、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境下、社会インフラを止めず、その維持に貢献する企業として、「安心・便利な社会インフラ」「働きがいと生産性向上」「地球環境の保全」の3つの貢献分野で社会課題の解決につながる価値を提供していくことが、創業150年を迎える2031年に向けたOKIのありたい姿です。このありたい姿の実現に向け、昨年度から中期経営計画2025（中計2025）をスタートさせました。中計2025の2年目となる今年度は、カルチャー改革とスタイルチェンジを加速させ、成長への舵切りを更に進めています。

当第3四半期連結累計期間の業況は、主に上期での大型案件等の取り込みを主因に、売上高は3,070億円（前年同期比204億円、7.1%増加）となりました。

利益面につきましては、前年度後半以降のエンタープライズソリューション事業の大型案件が引き続き堅調に推移したことに加え、今年度注力のパブリックソリューション事業も第4四半期に向けて順調に立ち上がり、営業利益は76億円（同18億円、30.6%増加）となりました。

経常利益は、為替差損益の悪化等があったものの56億円（同8億円、17.5%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、20億円（前年同等、1.2%減少）となりました。

単位：億円	2025年3月期	2024年3月期	増減率
売上高	3,070	2,866	7.1%
営業利益	76	58	30.6%
経常利益	56	48	17.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	20	20	△1.2%

事業別の外部顧客に対する売上高および営業利益は、次のとおりです。

②事業別の状況

＜パブリックソリューション事業＞

売上高は703億円（前年同期比65億円、10.1%増加）、営業利益は27億円（同21億円、380.2%増加）となりました。注力案件の消防・防災・道路・防衛などにより増収増益となりました。また、当年度内の受注は堅調に推移しています。

単位：億円	2025年3月期	2024年3月期	増減率
売上高	703	638	10.1%
営業利益	27	6	380.2%

＜エンタープライズソリューション事業＞

売上高は1,324億円（前年同期比169億円、14.7%増加）、営業利益は、118億円（同13億円、11.7%増加）となりました。前年度後半からの大型案件の継続および前年同期の部材コスト増の影響が解消したこと等により、増収増益となりました。

単位：億円	2025年3月期	2024年3月期	増減率
売上高	1,324	1,155	14.7%
営業利益	118	105	11.7%

＜コンポーネントプロダクツ事業＞

売上高は558億円（前年同期比24億円、4.5%増加）、営業利益は21億円（同24億円改善）となりました。OEM案件の増加および為替影響により増収、営業利益は商品構成差および費用削減等により改善しました。

単位：億円	2025年3月期	2024年3月期	増減率
売上高	558	534	4.5%
営業利益	21	△3	—

<EMS事業>

売上高は481億円（前年同期比55億円、10.2%減少）、営業損失は16億円（同24億円悪化）となりました。前年度後半以降の半導体市場やF A・ロボット市場での需要減の継続により減収、営業利益も悪化しました。

単位：億円	2025年3月期	2024年3月期	増減率
売上高	481	536	△10.2%
営業利益	△16	8	—

<その他>

売上高は3億円（前年同等）、営業損失は将来事業創出に向けたR&D等成長に不可欠な投資を継続して行ったため、10億円（同3億円悪化）となりました。

単位：億円	2025年3月期	2024年3月期	増減率
売上高	3	3	△2.9%
営業利益	△10	△7	—

(2) 当四半期の財政状態の概況

①当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産等の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して6億円減少の4,228億円となりました。自己資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益を20億円計上した一方で、その他の包括利益累計額が22億円減少したこと及び普通配当を26億円実施したこと等により、前連結会計年度末に対して28億円減少の1,384億円となりました。その結果、自己資本比率は32.7%となりました。

資産では主に、受取手形、売掛金及び契約資産が173億円、投資有価証券が56億円減少した一方で、棚卸資産が226億円増加しております。

負債では主に、借入金が増加しており、前連結会計年度末1,100億円から88億円増加し、1,188億円となりました。

②当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益を計上したことにより、35億円の収入（前年同期13億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出があったことにより、102億円の支出（同131億円の支出）となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローとを合わせたフリー・キャッシュ・フローは67億円の支出（同118億円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入れによる収入があったことにより、28億円の収入（同27億円の収入）となりました。

以上の要因に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額による増加6億円により、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末の344億円から312億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、足元の事業環境と各事業の業績動向を踏まえ、売上高を4,530億円（前回公表比70億円減収）に修正しました。また、セグメント別内訳につきましても、以下のとおり修正しました。

（ご参考）2025年3月期通期連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（単位：億円）

単位：億円	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	4,600	160	145	95
今回発表予想（B）	4,530	160	145	95
増減額（B－A）	△70	－	－	－
増減率（％）	△1.5	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	4,219	187	183	256

（単位：億円）

単位：億円		2025年3月期 今回予想	2025年3月期 前回予想	増減額
パブリック ソリューション	売上高	1,320	1,350	△30
	営業利益	110	105	5
エンタープライズ ソリューション	売上高	1,780	1,780	－
	営業利益	150	150	－
コンポーネント プロダクト	売上高	760	750	10
	営業利益	20	15	5
E M S	売上高	670	720	△50
	営業利益	0	10	△10
その他	売上高	0	0	－
	営業利益	△18	△18	－
本社・消去	営業利益	△102	△102	－
合計	売上高	4,530	4,600	△70
	営業利益	160	160	－

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因としては、市場の動向、原材料の高騰、急激な為替変動、災害等による影響などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,044	31,880
受取手形、売掛金及び契約資産	114,115	96,828
製品	17,981	22,764
仕掛品	17,380	35,862
原材料及び貯蔵品	35,409	34,736
その他	19,776	18,579
貸倒引当金	△19	△53
流動資産合計	239,687	240,599
固定資産		
有形固定資産	60,569	60,616
無形固定資産	15,924	17,375
投資その他の資産	107,218	104,249
固定資産合計	183,711	182,240
資産合計	423,399	422,840
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,030	68,162
短期借入金	60,012	73,050
引当金	6,346	5,009
その他	57,980	47,825
流動負債合計	188,369	194,048
固定負債		
長期借入金	50,017	45,745
引当金	1,339	1,620
退職給付に係る負債	27,887	26,935
その他	14,471	15,963
固定負債合計	93,715	90,264
負債合計	282,084	284,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,000	44,000
資本剰余金	18,960	18,940
利益剰余金	73,622	72,997
自己株式	△761	△712
株主資本合計	135,820	135,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,069	7,344
繰延ヘッジ損益	△10	55
為替換算調整勘定	△7,020	△7,027
退職給付に係る調整累計額	3,315	2,801
その他の包括利益累計額合計	5,353	3,173
新株予約権	73	44
非支配株主持分	65	84
純資産合計	141,314	138,527
負債純資産合計	423,399	422,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	286,642	307,000
売上原価	219,007	229,113
売上総利益	67,635	77,887
販売費及び一般管理費	61,792	70,256
営業利益	5,842	7,631
営業外収益		
受取利息	561	710
受取配当金	930	1,015
雑収入	851	447
営業外収益合計	2,344	2,173
営業外費用		
支払利息	1,672	1,659
雑支出	1,726	2,521
営業外費用合計	3,399	4,180
経常利益	4,787	5,624
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,040
特別利益合計	—	1,040
特別損失		
固定資産処分損	1,283	—
特別退職金	—	528
特別損失合計	1,283	528
税金等調整前四半期純利益	3,503	6,136
法人税、住民税及び事業税	1,249	1,055
法人税等調整額	243	3,090
法人税等合計	1,492	4,145
四半期純利益	2,011	1,991
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,999	1,975

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,011	1,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,976	△1,723
繰延ヘッジ損益	7	65
為替換算調整勘定	931	1
退職給付に係る調整額	△135	△513
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△1
その他の包括利益合計	6,779	△2,171
四半期包括利益	8,790	△180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,775	△204
非支配株主に係る四半期包括利益	15	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,503	6,136
減価償却費	10,189	11,087
引当金の増減額 (△は減少)	△8,877	2,211
受取利息及び受取配当金	△1,492	△1,725
支払利息	1,672	1,659
投資有価証券売却損益 (△は益)	△86	△1,025
売上債権の増減額 (△は増加)	834	20,117
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,841	△22,140
仕入債務の増減額 (△は減少)	△558	△3,551
その他	3,956	△6,162
小計	1,301	6,607
利息及び配当金の受取額	1,049	1,120
利息の支払額	△1,439	△1,492
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	417	△2,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,329	3,517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,491	△7,207
無形固定資産の取得による支出	△3,719	△4,228
投資有価証券の売却による収入	114	4,222
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,257	—
長期前払費用の取得による支出	△818	△2,786
その他の支出	△608	△296
その他の収入	147	145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,118	△10,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,550	15,110
長期借入れによる収入	22,250	4,700
長期借入金の返済による支出	△12,207	△11,638
配当金の支払額	△1,724	△2,585
リース債務の返済による支出	△3,140	△2,800
その他	66	44
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,694	2,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,221	597
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,872	△3,204
現金及び現金同等物の期首残高	37,498	34,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,625	31,217

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パブリック ソリューション	エンタープ ライズソリ ューション	コンポーネ ントプロダ クツ	EMS	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	63,849	115,458	53,419	53,611	286,338	304	286,642	—	286,642
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,550	263	4,470	465	6,750	6,891	13,641	△13,641	—
計	65,400	115,722	57,889	54,076	293,088	7,195	300,284	△13,641	286,642
セグメント利益 又は損失 (△)	561	10,525	△276	805	11,615	△713	10,901	△5,058	5,842

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供等を行っております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△5,058百万円には、セグメント間取引消去226百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,303百万円及び固定資産の調整額18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パブリック ソリューション	エンタープ ライズソリ ューション	コンポーネ ントプロダ クツ	EMS	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	70,310	132,427	55,848	48,118	306,704	295	307,000	—	307,000
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,959	227	4,768	406	10,362	7,695	18,058	△18,058	—
計	75,270	132,655	60,616	48,525	317,067	7,991	325,059	△18,058	307,000
セグメント利益 又は損失 (△)	2,694	11,755	2,099	△1,575	14,974	△1,021	13,952	△6,321	7,631

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供等を行っております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△6,321百万円には、セグメント間取引消去265百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,587百万円及び固定資産の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。